



市制50周年と「市民の花木」制定を記念し、書を寄贈した栗津さん(左)＝岩倉市役所で

## 岩倉の「さくら」流れるように

出身書家・栗津さん市に寄贈

岩倉市出身の書家、栗津紅こう花か（本名・岩月絵里）さん（五九）が、市民の花木かほくとして制定された「さくら」を書にすため、市に寄贈した。市は多くの市民に見てもらえる場所に設置する方針。

川の桜がある。舞い散る花びらや川で遊んだ風景から今もアイデアが生まれる。少しでも恩返ししていけたらうれしい」と説明。久保田桂朗市長は「市を思い、素晴らしい書を贈っていただき、本当にありがたい」とお礼を述べた。

桜の名所で知られる五条川沿いの実家で育った栗津さん。力強い文字で、川面に向かって垂れ下がる枝やごつごつとした幹、川の流れを表現した。満開の桜や川の絵も描き、一畳ほどの大きさの額に入れて仕上げた。

栗津さんは横浜市を拠点に活動している。岩倉市への寄贈は、卒業した南部中に校訓「飛翔ひしょう」を書いたのに続いて二回目。市制五十周年に合わせて申し出て、市が「さくら」の文字を提案し、実現した。（小中寿美）

市役所で寄贈式があり、栗津さんは「活動の根底に五条